旭川市の取組①

取組のタイトル	広報誌に間伐材配合印刷用紙を使用
取組の時期	（始期）平成 24 年４月～　継続中
関連する SDGs のゴール・ターゲット	12 つくる責任 つかう責任

取組内容

○平成２４年４月号から現在に至るまで、広報あさひかわ市民「あさひばし」（年１２回発行）の印刷用紙に間伐材配合用紙を使用し、広報誌の裏表紙左下に「道産間伐材マーク」を掲載している。

H24.４月号　画像右下に道産間伐材マークを掲載

R6.11 月号　画像右下に道産間伐材マークを掲載

旭川市の取組②

取組のタイトル	緑化推進費
取組の時期	（始期）平成 10 年～　継続中
関連する SDGs のゴール・ターゲット	

取組に指標を設定している場合はその達成状況

指標：みどりに関わる協働団体数　→現状：387 団体（R5）

取組内容

〇緑豊かなまちづくりを行うため，シンボル花壇の整備や市民の道路の花壇づくりを支援するとともに，緑化団体の指導育成やイベントの開催を推進しています。

花株助成により彩られた道路花壇

花フェスタ旭川開催状況

旭川市の取組③

取組のタイトル	水辺環境推進費
取組の時期	（始期）平成 25 年～　継続中
関連する SDGs のゴール・ターゲット	

取組内容

○河川愛護思想の普及啓発を図るため，子供の水辺協議会の開催や河川とのふれあい促進事業を行っています。

子供の水辺協議会への支援によるイベントの様子

川に学ぼう

防災施設講座

旭川市の取組④

取組のタイトル	サステナブル農業をテーマとした視察研修
取組の時期	（始期・終期）令和６年 11 月
関連する SDGs のゴール・ターゲット	

取組内容

〇令和６年度旭川市農業委員会視察研修のテーマは「サステナブル農業」でした。

〇ウクライナ戦争とコロナ禍以降，原料調達の不安定化により高騰の続く肥料や燃料などの農業資材について，地域の資源を循環活用することで環境にやさしい持続的な農業生産システムを構築する方策を学ぶことをねらいとして実施しました。

〇下水汚泥の肥料化については，複数の処理場で取り組みの状況について実際にお話を伺うことで，それぞれの施設の特色や共通する課題について学び，産業廃棄物の再利用と農業の関係性について理解が深まりました。バイオコークス研究所では，農作物の残渣をバイオコークス化することにより農業ビジネスが成立する実例をお聞きし，環境保全と農業経営改善の両立が可能であることを学ぶことができました。

参加対象者　旭川市農業委員
参加者数　　１７名

視察場所
（１）石狩川流域下水道組合　奈井江浄化センター（奈井江町）
（２）岩見沢市　南光園処理場（岩見沢市）
（３）アクア・バイオマスセンター北広島（あしる）（北広島市）
（４）近畿大学バイオコークス研究所（恵庭市）